

## 平成27年度 木曾川町連区防災訓練

木曾川町連区防災訓練が、今年度は木曾川東小学校で、10月4日（日）快晴のなか開催されました。

訓練想定は、マグニチュード9の地震が発生し、当町が最大震度5強となり甚大な被害が発生したとしての訓練でした。

訓練参加は、木曾川東小学校区の門間と南黒田連区で、訓練参加者と訓練スタッフ併せて500名を超える規模となりました。

特筆すべき数としては、中学生のスタッフが50名強となったことです。中学生が大人社会と一緒に何かをしたいとのこと



炊き出し訓練

で、多くの参加になったと聞いています。

訓練内容は、炊き出し・初期消火・AEDの取扱い・応急救護の訓練でした。

炊き出し訓練では、米の入った袋を通常は輪ゴムで止めるのを、今年は袋を結んで閉じると言った独自の手法を考えました。昨年と比べ、失敗が少なく、美味しく炊きあがると好評でした。

また、消火器の噴射時間が16秒であること、AEDでの胸圧迫動作にかなりの力を要すること、家庭用の毛布が簡単にタンカーになることなど、いづれも見聞きしてはいたのですが、目の当たりにし実際に体験することで、改めてこの訓練の有難味を感じていたようです。

参加は、幼児を乳母車に乗せ、或は子ども連れの家族など、参加者が多階層するなかでの訓練であったことも、非常に良かったのではないのでしょうか。

来賓のあいさつの中でも、伊勢湾台風の時にはまだ生まれていなかった。また、伊勢湾台風以後是といった大きな被害をもたらす自然災害には遭遇してないなど、恵まれた地区であることの話がありました。

一方、だからこそ、このような訓練は大事であるとの話がありました。

訓練開始前のスモークハウスを通過する避難訓練や、訓練後の、木曾川東分団によるポンプ操法の披露（日頃から訓練をしている内容）では、きびきびとした動作に、頼もしさと

安心感を与えてくれたひと時でした。

さらに、会場に展示された防災備蓄倉庫内の資機材及び家具転倒防止コーナーなど防災に関するあらゆる分野・組織での構成に、この訓練規模の大きさを感じました。



開会式風景



初期消火訓練



応急救護訓練



AED取扱い訓練

来年度は、黒田小学校区での訓練となります。新たな創意工夫により、一層充実した訓練となることを期待しています。

前が全然 見え~へん。  
怖かった~

スモークハウス体験



ポンプ操法

放水!



10月3日(土)は、防災備蓄倉庫の中にどんなものが入っているか?、また、倉庫内の資機材の組み立て方や資材の強度などを教えてもらい、

担架は、このように脚の方を前進方向とし、頭を少し上にするなど詳細な指導を受けました。



このリヤカーの積載重量は、150kg とのこと  
大人が2~3人位ですね。

このトイレだと、出るかな~???  
出来れば  
使いたくないな~。

